

生野工業高校校歌

湯川昇一 作詞
池尻景順 作曲

いこまのみねーのあーさぎりにえん
じつしずかにのーほるとーきいく
ののさとーのまなびやにじゆ
うーみんしゅのかねーひびくわこ
うどわれーらいきたかし

生野工業高校校歌

3	2	1
久遠の理想めざしては 掬めどもつきぬ真善美 文化を刻む齒車に 工業人の誇あり 若人われら幸多し	茅渟の浦に波騒ぎ 濁世の怒濤寄するとも 若き命の血潮もて 新生日本を打ち樹てん 若人われら憂なし	生駒の嶺の朝霧に 円日静かに昇るとき 生野の里の学び舎に 自由民主の鐘ひびく 若人われら意気高し

【参考】

- ※『茅渟の浦』は大阪湾のことで、和泉の国の古い呼び名。
- ※『濁世の怒濤』の濁世とは仏教の言葉で濁り（にごり）汚れた世の中のことで、荒れた厳しい世の中を誇張した表現。
- ※『掬めどもつきぬ』の掬とは、ばらばらに散ろうとする米つづを外から丸く包もうとすることで、あふれるほどあつて涙むことが尽きないさま。